

軍事・戦争遺跡を 未来に生かす道

—近代遺跡保存の条件とエコミュージアムの可能性—

2022年11月23日(水、祝日)

参加費 500円

(院生・学生 100円)

定員 180名(当日先着順)

午後1時～4時30分(開場12時30分)

大阪歴史博物館 4階 講堂

大阪市中央区大手前4-1-32

TEL 06-6946-5728

Osaka Metro 谷町四丁目駅②⑨号出口

大阪シティバス 馬場町バス停前

基調講演

栗原祐司(京都国立博物館副館長)

エコミュージアムと住民参加

パネラー

塚崎昌之(十五年戦争研究会)

大阪府の軍事・戦争遺跡とその現在

大西 進(河内の戦争遺跡を語る会)

大正飛行場の保存活動から

森下 徹(和泉市教育委員会)

和泉市信太山忠霊塔の保存運動から

吉岡 武(保存を考える会副理事長)

旧真田山陸軍墓地の保存運動から

岡田祥子(保存を考える会理事)

エコミュージアムとして生かす実践を

行なって

船越幹央(大阪歴史博物館)

大阪における博物館と軍事・戦争遺跡

軍事・戦争遺跡を文化財として生かすためには何が必要か！各地の経験も踏まえて討論する。その際それらを地域に広がる歴史的な存在として、すなわちエコミュージアムとして認識することが生み出す新しいステージを考える。



主催 NPO 法人 旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会
共催 大阪歴史博物館 全日本博物館学会(調整中)

館内ではマスク着用・手指消毒をお願いしています。また入口に非接触式体温計を設置しています。